

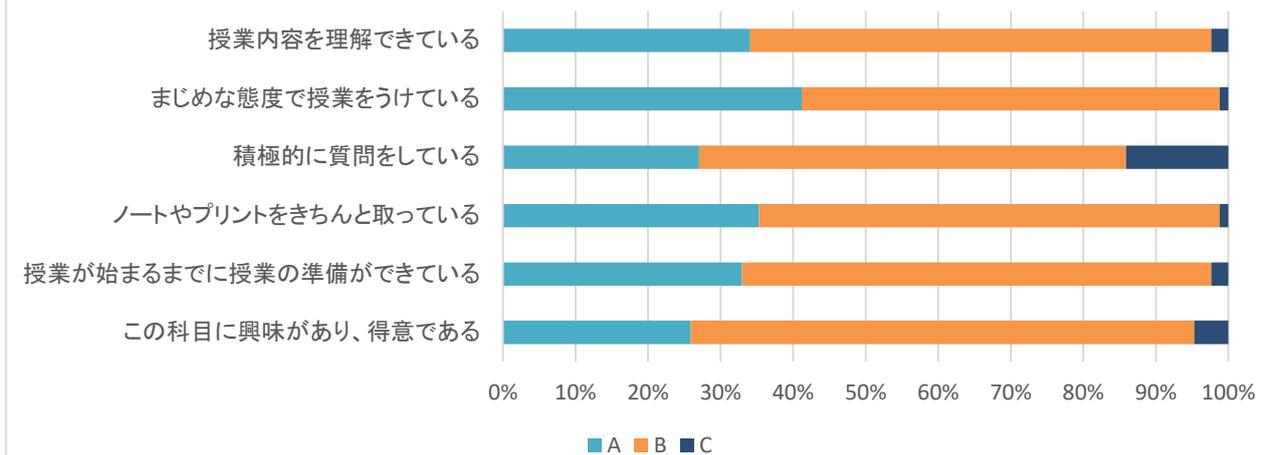


# 竹の子通信

令和4年2月号

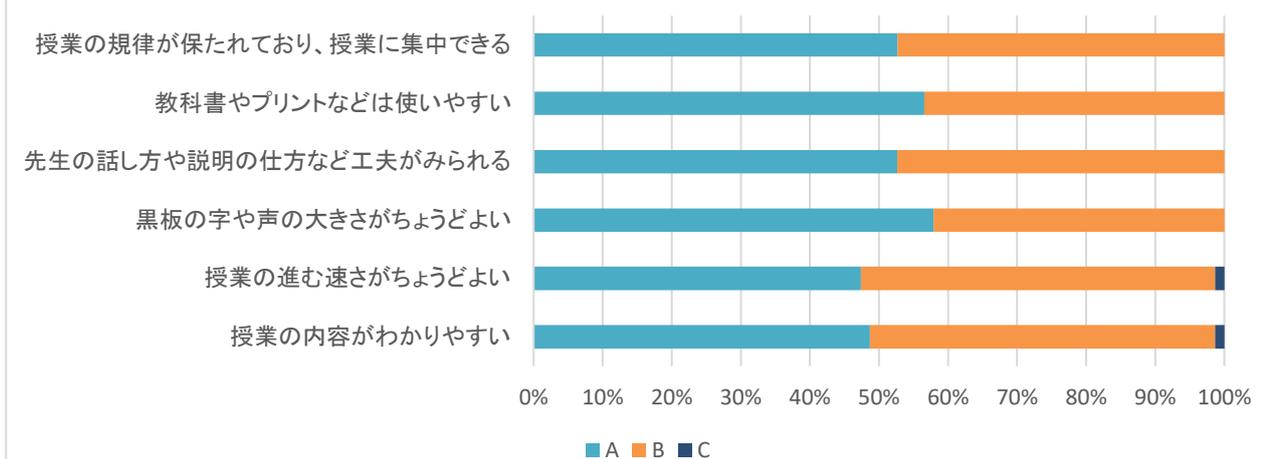
今回は、在校生向けの竹の子通信です。1月に実施した授業評価特別号として皆さんにお届けします。授業への取り組みを振り返ってください。

## 授業への取り組み(考査のある科目)



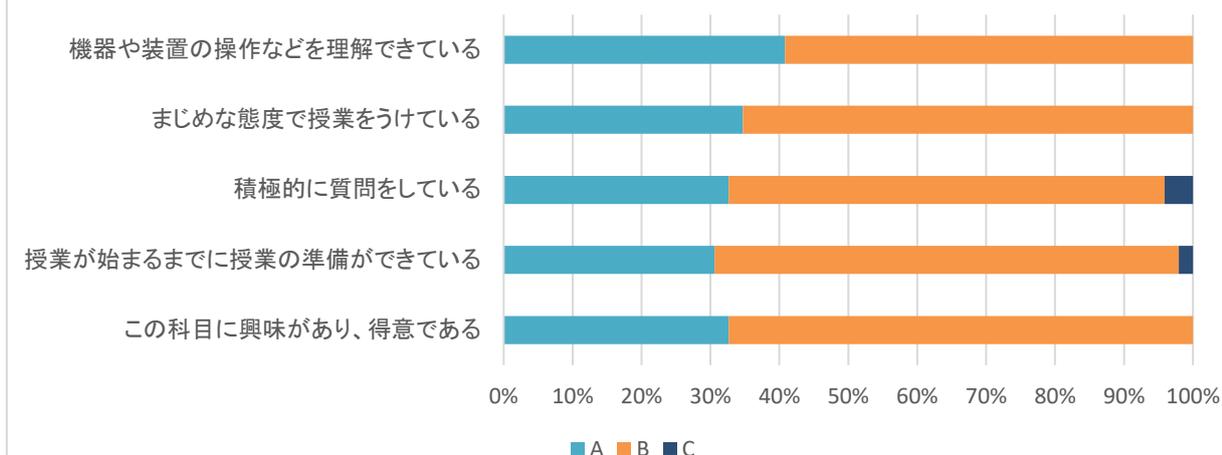
最初は、考査のある科目の授業への取り組みです。まじめな態度で授業を受け、ノートやプリントをきちんと取っている人が多い割に、授業内容を理解できていると自信を持って答えている人が少ないことが分かります。これを解決するために、まずは、授業に興味を持ちましょう。そして、先生に質問しましょう。少し早く来て職員室にやってくる。雑談の中でさりげなく聞いてみる。自分に合ったやり方で先生方とのコミュニケーションを深めてください。

## 授業の感想(考査のある科目)



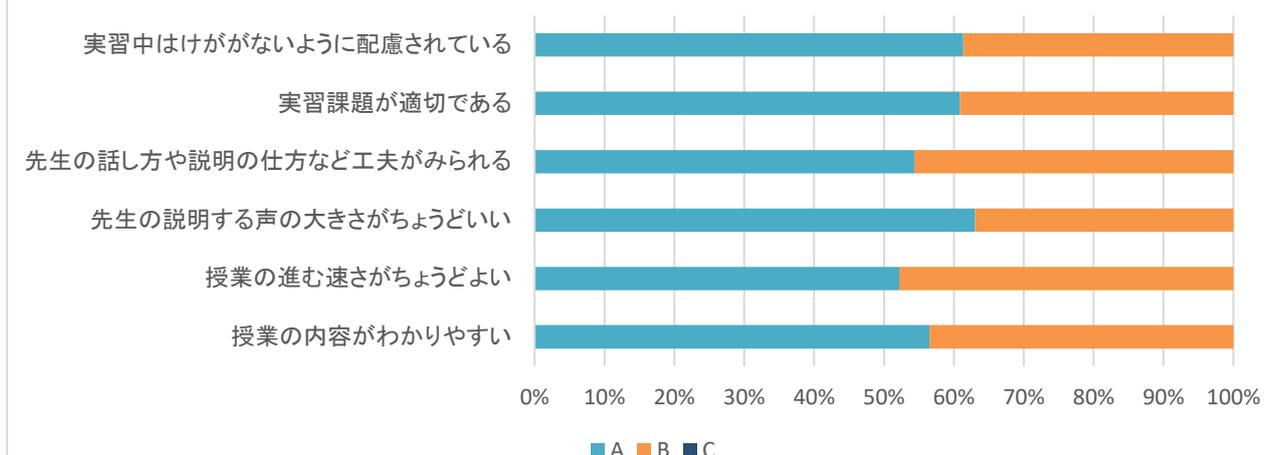
次に、考査のある科目の授業への感想です。この調査では、おおむね先生方にとってうれしい結果となっています。しかし、「授業の進む早さがちょうどよい」と「授業内容が分かりやすい」の項目にCと答えている人がいます。この意見を我々教員は大切にしたいと考えています。皆さんにとって分かり易い授業に改善するためのアンケートです。そのために、具体的な考えを教えてください。コメント欄を活用したり、職員室にやってきましたり。皆さんの前向きな反応を待っています。

### 授業への取り組み(考査を実施しない科目)



3番目は、考査を実施しない科目の授業への取り組みです。「機器や装置の操作などを理解できている」と答えた人の割合が多いことにほっとしています。しかし、「まじめな態度で授業をうけている」と答えた人の割合が少し低いことも気になっています。体育や実習、課題研究は皆さんが積極的にならないと効果を出せない科目です。皆さんの積極的な取り組みを期待します。

### 授業の感想(考査を実施しない科目)



最後は、考査を実施しない科目における授業の感想です。「実習中はけがの内容に配慮されている」と答えてくれた人が多いことに安心しました。皆さんの安全があつての実技科目です。先生の説明する声の大きさや説明の仕方などが、皆さんに受け入れられているからこそその結果だと考えています。今後も、安心・安全な実技科目の実施のためにお互いに協力していきましょう。

**授業評価は、皆さんの声を直接先生に届けることができる重要な調査です。皆さんが、もっと、もっと真摯な態度で授業評価に取り組むことを期待します。**

保護者の皆様も、この調査結果から感じることを、お子さんにお話してください。高校の授業は日常会話のネタにはなりにくいと思いますが、お子さんの学校での様子をうかがう材料の一つとなれば幸いです。